

強力溶着式ロードマーキングライン全色共通

取扱説明書

生産物賠償責任保険加入済

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

■施工時に準備する道具・材料など



- A 設置面の清掃道具
ほうきやブラシなどで、施工前に清掃します。
- B ロードマーキングライン、シート
当社専用の加熱溶着用ライン、シートをご用意ください。
- C プライマー液状タイプ D スプレータイプ
当社専用のプライマーをご使用ください。
- E プライマー塗布用具
刷毛・ローラー、トレイ等をご用意ください。
- F 施工箇所印付け用具
必要に応じて、チョーク、メジャー、テープなどがあると便利です。
- G ロードマーキング用バーナー
施工の用途に応じて、バーナーシリーズよりお選びください。

■施工方法

1. 路面清掃・プライマー塗布と乾燥

砂、小石、汚れ、ほこり、水分は禁物ですので、十分に路面を清掃した後、ラインの大きさより2cm程広めにプライマーを路面凹部までムラなく塗布します。指で触れてプライマーが付かない程度まで乾燥させます。

※必ず、ロードマーキング用プライマーをご使用ください。
プライマーに記載の取扱説明を必ずお読みいただき、正しく使用してください。

アスファルト路面の場合は、アスファルト用プライマー RM-500、RM-501 を使ってください。
コンクリート路面の場合は、コンクリート用プライマー RM-502 を使ってください。



●プライマー必要量のめやす

〈液状タイプ 1ℓ〉	〈スプレータイプ420ml〉
ナンバーL…約70枚分	ナンバーL…約40枚分
ライン(100mm×5m)…約7本分	ライン(100mm×5m)…約4本分

2. ラインの配置

ラインを配置します。
(継ぎ目がある場合は5mm程度重ねてください。)

路面へ罫書き(印付け)をするなどして正確な直線に配置してください。右記の「正確な直線に施工するコツ」を参照してください。



3. バーナーで加熱

バーナーは新富士バーナーロードマーキング用バーナーをお使いください。

※バーナーの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しく使用してください。

- 炎の強さ：1～2秒でラインが路面になじむ程度
- バーナーの距離：20～40cm

エッジ部については、最初から強火だと炎の勢いでまくれ上がるおそれがあるのでラインが路面になじむ温度から加熱してください。



■バーナー加熱のめやす

●加熱不十分の状態

気泡により部分的にふくらみが発生した状態。



●加熱完了の状態

ライン表面が溶けて穴があきはじめるまでしっかり加熱します。



(みかんの表面のような状態になります。)



焦げて黒くなる状態

※ウラ面の「施工ポイント」を必ずお読みください。

■施工場所について



注意

- 無断で、公共部(道路等)には施工しないでください。
- アスファルト路面、コンクリート路面の施工推奨です。他のカラー路面材の上には施工できません。
・アスファルト路面の場合は、アスファルト用プライマー RM-500、RM-501 を使ってください。
・コンクリート路面の場合は、コンクリート用プライマー RM-502 を使ってください。
- 新設の路面でも施工可能ですが養生期間が必要です。
・新設アスファルトの場合は夏期は2週間、冬期は3週間以内は施工をさけてください。

■施工上の注意

- 加熱施工中、施工直後はラインが熱くなっていますので絶対に触らないでください。
(ラインの軟化点=約100℃、溶解温度=140～150℃)
- 路面が濡れているときの施工は絶対にしないでください。必ず乾燥させてから施工してください。
- 外気温が5℃以下の場合の施工は原則として避けてください。※気温が5℃であっても路面温度が5℃以下場合があります。特に冬場の施工においては路面を加熱する等の処置をしてください。
- 夏場においては施工直後はタイヤの跡が付きやすいため、施工5分後に水をかけるなどして、路面温度を下げてから交通開放してください。
- 施工の際、お子様には十分注意してください。

◆正確な直線に施工するコツ◆

路面への罫書き(印付け)作業をすることで正確な直線に施工できます。

- ① 建築用糸とチョークを準備します。始点と終点をチョークでマークし、糸を張ります。
- ② その糸に沿う形でラインを設置します。
- ③ 始点1名、終点1名の2名で直線を出すように微調整をします。
- ④ 1名の場合は始点に重し(ラインがつぶれない程度に)を使用し終点側1名で調整。この時強く張りすぎるとシートが破れるおそれがありますので注意してください。

材 質：熱可塑性樹脂、炭酸カルシウム、体質顔料

PL保険加入済
発売元

新富士バーナー株式会社
〒441-0314 愛知県豊川市浦津町御幸1丁目1-3
TEL 0533-75-5000 FAX 0533-75-5033
http://www.shinfuji.co.jp

製造元

積水樹脂株式会社
〒105-0022
東京都港区海岸1丁目11番1号
ニューピア竹芝ノースタワー5F
TEL03-5400-1847 FAX03-5400-1804

ShinFuji Burner

MADE IN JAPAN

施工要領

1.路面の清掃

汚れ、ホコリ、水分は禁物ですので、十分除去してください。

2.プライマーの塗布・乾燥

シートの大きさより2cm位広めにプライマーを、路面の凹部までムラなく均一に塗布し、指で触れてプライマーがつかない程度まで乾燥させてください。






3.ロードマーキングの展開

割れたり、ゆがんだりしないように取扱いには注意し、図面の寸法をよく確認の上配置願います。(シート継ぎ目は5mm程度重ねます。)

4.ロードマーキングの加熱溶融

ガスバーナーは往復操作を行って、断続的に加熱しますが焦げない程度の火力にしてください。

ロードマーキングの表面状態から見た加熱度合の判断

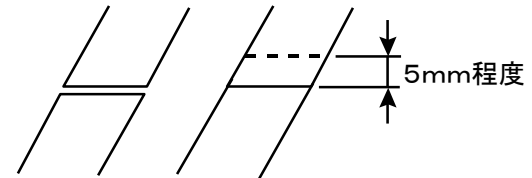
ランク	ロードマーキングの表面状態	図示	接着状態
A	路面になじむ		全く接着していない
B	気泡により部分的にふくらむが発生		不十分
C	気泡が破れて穴が開く		不十分
D	さらに路面の細かい凹凸になじみ、シート表面がわいてくる。		接着性発揮
E	シート表面がわいてきて、大きな穴が小さくふさがっていき、小径の穴(針でついたように)が多数発生する。(みかんの皮状表面を呈する)		完全に接着性発揮

5.交通解放

シート冷却後、交通を解放して下さい。夏場など冷却の遅い場合は、散水等で冷却してください。

施工注意事項

- 路面が濡れている場合の施工は、絶対に行わないでください。
- 外気温が5℃以下の施工は、原則として避けてください。
※気温が5℃であっても路面温度が5℃以下場合がありますので、特に冬場の施工においては路面を暖めるなどの処置をしてください。
- シートの配置は、図面の寸法を確認の上配置して下さい。シートの継ぎ目は5mm程度重ねて配置してください。



悪い展開例

正しい展開例

- シートの加熱は、弱火で全体を下地に馴染ませてから行ってください。加熱不足はシートの剥がれを起こしますので、シートにピンホールができるくらいまで十分に加熱溶着させてください。
- 施工直後(特に夏場)では、タイヤの跡がつきやすいので施工後に散水などをして、路面温度まで温度を下げてから交通解放してください。

■新設舗装上への施工について

- ・アスファルトの場合、夏期2週間以内、冬期3週間以内は施工はしないでください。(バーナーで加熱の際、高温でアスファルト路面が流動するおそれがあります。また、浮遊タール、アスファルト成分により施工したラインが汚れるおそれもあります。)
- ・コンクリートの場合、夏期3週間以内、冬期4週間以内は施工はしないでください。(新設の場合、アルカリ性が強く、塗膜の劣化、剥離が起こるおそれがあります。また、施工の際には表層のレイタンス層をワイヤーブラシ等で除去してから施工しなければ、剥離するおそれがあります。)